

日本 萬歳  
百揆 百笑

露兵の弱無士 骨皮道人  
 甲「日本の軍隊が何をお陣屋で居るを見て来て  
 乙「か、つて、相撲や芝居を見よ、仍くのぢやアある  
 丙「日本兵は後見りやア大切を命が玉無一もある  
 丁「一件ごもの此様を剣香を  
 後廻りありやア付まらん、さうサ  
 急長は、後見りまわつて居る  
 乙「ソラと云やア逃げ出するが  
 出まるといふと、自己達のやうに  
 斯うお先を使する者には、ツドンと  
 来りやア直にバタリたぐら、堪らぬのナ、  
 乙「露國の作候兵が、例のオツカナ、吃驚でソク、サ  
 末のものを、居留地の子供まを馬席りて、堀の上より  
 日本兵の人形をニエーと出すと、其作候兵は、臆を  
 淡して、キヤツと云ひまがら、周章で逃出さうとて、  
 モウ目が眩んで居るから、サツ、ハリ  
 方角が知れぬので、唯  
 マゴ、して居る、スルと  
 子供等、面白がって  
 「ヤ、ハイ、そのまを、  
 露兵行くのだ」



南  
 正  
 清